

事前評価書

1 事業名 床上浸水対策特別緊急事業	地区名・路線名等 二級河川 福田川
2 事業概要 (1) 位置 名古屋市始め (2) 規模・内容 事業延長 L = 6,700 m、河道改修 (3) 事業期間 平成17年度～平成21年度 (4) 事業費 2,250百万円	
3 必要性 福田川流域は、日本でも有数な地盤沈下地帯であるとともに、名古屋市近郊であるため都市化が著しいことから、治水機能が低下しており、平成12年度の東海豪雨では浸水面積1,330ha、床上浸水729戸の被害を受ける等、浸水被害が増大しており、河川改修は緊急を要しています。	
4 事業効果 (1) 評価期間 事業着手より事業完了後50年間 (2) 基準年度 平成16年度 (3) 基準年における総費用(C) 2,180百万円 (4) 基準年における総便益(B) 10,470百万円 (5) 便益の内訳 一般資産や公共土木施設の被害軽減額 (6) 費用対効果(B/C) 4.8 (7) その他 特にありません	
5 事業をめぐる社会情勢 福田川流域においては、近年の都市化の進展等により治水能力が低下しており、平成12年の東海豪雨を始め、度々、内水による浸水被害を受けてきました。そのため、地元住民等から、河川改修の促進の要望が強くなっております。	
6 その他特記事項 特にありません。	